



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会社名 武蔵精密工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大塚 浩史  
(コード番号 7220 東証・名証第一部)  
問合せ先 取締役上席執行役員 神谷 功  
経 理 統 括  
(TEL. 0532-25-8111)

## 業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月10日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	175,000	11,000	8,300	5,300	169.90
今回発表予想 (B)	175,000	11,000	10,000	6,300	201.96
増減額 (B-A)	0	0	1,700	1,000	—
増減率 (%)	0.0	0.0	20.5	18.9	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	164,397	13,398	11,449	6,809	218.29

#### 2. 修正の理由

##### (1) 通期連結業績予想修正の理由

主として、最近の業績動向及び2017年3月期第3四半期連結会計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)に計上された為替差益額を考慮し、前回予想の経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上回る見込みとなりました。

#### 3. 営業外費用(為替差損)の計上について

##### (1) 営業外費用の内容

為替相場の変動により、平成29年3月期第3四半期連結会計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)において、為替差益1,847百万円、平成29年3月期第3四半期会計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)において、為替差益1,660百万円が発生し、平成29年3月第3四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)において、為替差損650百万円、平成29年3月期第3四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)において、20百万円の為替差損を計上しました。

これは主に、同期間中に生じた為替変動により、売上、仕入の計上時と決済時の為替レートの差が生じたことに加え、期末時点での当社グループが保有する外貨建資産・負債につき、同日の為替相場で評価したことにより、生じたものです。

(2) 業績に与える影響

営業外費用(為替差損)の計上による業績への影響につきましては、上記「1.業績予想の修正について」に織り込み済みです。

以上

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。